

# 山行報告書

作成: 2012年1月13日 愛知岳連 岡崎山岳会

|        |                    |        |                       |
|--------|--------------------|--------|-----------------------|
| 山名[山域] | 八ヶ岳、赤岳             | 目的[方法] | 冬の赤岳登頂、稜線からの夕日、朝日を楽しむ |
| 期間     | 2012年1月7日(土),8日(日) | 形態     | 1泊2日小屋泊               |
| 参加人数   | 8人                 |        |                       |

## 行動記録:

◇1/7(土)岡崎市民病院 PKG 発(5:10)=0:10=岡崎IC(5:20)=1:50=恵那 SA(6:20,6:50)=1:10=諏訪南IC(8:00)=0:30=美濃戸口(8:30,8:50)-1:10-美濃戸(10:00,10:10)-3:20-行者小屋(13:30,13:50)-1:40-地蔵の頭(15:30,15:35)-0:05-赤岳展望荘(15:40)就寝

◇1/8(日) 赤岳展望荘発(7:20)-0:50-赤岳頂上小屋(8:10,8:15)-0:05-赤岳頂上(8:20,8:30)-1:45-行者小屋(10:15,10:45)-1:10-美濃戸(12:50,13:15)-0:05-美濃戸口(14:00,14:15)八ヶ岳山荘風呂(14:15,15:15)=0:30=諏訪南IC(15:45)=1:05=駒ヶ根 SA(16:50,17:20)=1:30=岡崎IC(18:50)=0:10=岡崎市民病院 PKG(19:00)



日誌: 1日目、晴れ。

岡崎市民病院駐車場に集合し出発。八ヶ岳山荘の駐車場に駐車し美濃戸山荘まで林道を歩く。林道は雪道だが凸凹がないように整備されており、RV車でなくても行き来があり、赤岳山荘の駐車場に停める車もあった。美濃戸山荘から南沢ルートで行者小屋を向かった。途中登山道が氷っている箇所が現れアイゼンをつけて進んだ。行者小屋にて手短かに昼食・トイレ休憩を取り、ハーネスを装着し地蔵尾根を登り赤岳展望荘へ向かった。地蔵尾根は急登で滑り落ちたら危険そうな箇所がいくつかあった。凍結している場合は確保するためにロープも用意していたが、雪が程よく締まっていたためアイゼンの爪やピッケルがしっかりと利き、安心して登ることができた。

地蔵の頭に着き稜線に出ると風が強かったが、横岳・硫黄岳の展望とブロックン現象や夕日を楽しみ、赤岳展望荘にて宿泊した。2~3人部屋に泊まることができ、ゆったりくつろげた。食事豪勢なバイキングで、無料でコーヒー、お茶、お湯がもらえありがたかった。

2日目、快晴。

赤岳展望荘から富士山や日の出を楽しみ、赤岳頂上へ向けて出発した。急登の箇所もあったが、鎖等もあり1日目同様ロープを使うことはなかった。赤岳頂上小屋で休憩し赤岳頂上へ登ると大パノラマで、北アルプス、中央アルプス、八ヶ岳の山々が展望できた。頂上からは文三郎尾根で行者小屋まで下った。岩場や梯子、トラバース、長い階段部分もあったが、地蔵尾根よりも下りやすそうだった。その後美濃戸山荘まで下山し、無料の野沢菜とお茶を戴き、八ヶ岳山荘で無料のミカンと風呂、コーヒーを戴き岡崎に戻った。

感想: 終始晴天で八ヶ岳や360度の素晴らしい展望が望め大変気持ちのよい登山だった。冬山登山の厳しさの体感ではできなかったが、非常に恵まれた山行になった。また赤岳展望荘のご飯が大変豪勢で美味しかった。風が強いとあつという間に冷えるが、風が止むと暑くなり、体温調整が難しい。